

## 第185回 仏教公開講座

年間テーマ

# 生きるって ということ

サブテーマ（教区テーマ）

まなこ  
『眼をひらく』  
こころ  
『心をひらく』

真宗大谷派岐阜教区・岐阜別院

- 期 日 2019年11月20日（水）午後2時～4時
- 講 師 清原 隆宣（きよはら りゅうせん）氏（西光寺住職）
- 講 題 「人の世に熱と光を！一人間平等は阿弥陀様の願いー」
- 講師紹介 1952年 奈良県御所市柏原に生まれる  
1975年 大阪府富田林市立第一中学校に勤務  
1978年 奈良県御所市立大正中学校に勤務  
1984年 御所市同和教育研究会 事務局長（専従）に就任  
1987年 御所市同和教育推進協議会 事務局長（専従）に就任  
2002年 奈良県御所市立大正中学校に復帰  
2006年 公立学校教員を引退  
現在 浄土真宗本願寺派 西光寺（水平社運動発祥地）住職  
公益財団法人 奈良人権文化財団 評議員

### 先生からのメッセージ

差別は、人が勝手につくるまちがった“ものさし”からうまれます。  
私たちは生まれる場所を選ぶことはできません。  
たまたまその場所に生まれ、男であったり、女であったりします。  
当然親を選ぶこともできません。  
“たまたま”の世界でしかないのです。  
人はそれぞれ違い、それぞれが尊い存在です。  
差別をなくすことは、人間を尊敬するということ。  
お互いのいのちの尊さを認め合うことこそ  
それがまさに、阿弥陀様の願いそのものだからです。

いつでも・どこからでも聞ける“テレホン法話”、お電話ください。TEL058-265-0033

# MEMO

## 次回 第186回 仏教公開講座 ご案内

期 日 2019年12月20日（金）午後2時～4時

講 師 東館 紹見（ひがしだて しょうけん）氏 （大谷大学教授）

講 題 「宗祖親鸞聖人の御生涯に聞く」

講師紹介 1963年岩手県生まれ。1986年大谷大学文学部史学科卒業。1994年大谷大学大学院文学研究科博士後期課程満期退学。大谷大学文学部講師、准教授を経て、現在、大谷大学文学部歴史学科教授。博士（文学）。専門は、日本古代・中世の仏教史。

著 書（※いずれも共著）

『蓮如・人と教えー『蓮如上人御一代記聞書』に学ぶー』（東本願寺出版、2000年）

『日本の名僧 5 浄土の聖者 空也』（吉川弘文館、2005年）

『親鸞像の再構築』（筑摩書房、2011年）

メッセージ

宗祖親鸞聖人は、その御生涯を通して多くの方々や出来事と出遇われ、その中で、量ることのできない阿弥陀如来の光に人々と共に出遇い続けていかれました。宗祖の歩みを確かめさせていただきつつ、その御生涯を仰ぐことの意味についてご一緒に考えさせていただければと願っております。